

精神面のサポートや学習プログラムで 安心して出産に臨める環境をつくる



不安やストレスを受け止め リラックスできる環境を提供

湘南鎌倉総合病院を母体とする湘南鎌倉バースクリニックは、自然分娩に特化した診療所だ。診療を行ううえで大切にしているのは、母親が安心、リラックスして出産に臨める環境づくりだ。

目下剛院長はこう説明する。「お母さんは慣れない場所での出産に臨むため、不安を抱えがちです。しかし、お母さんが不安やストレスを抱えているのは、出産もスムーズには進みません。そのため、精神面への配慮を重視した診療所づくりを行っています」

ハード面では脳科学の考え方も取り入れ、内装を工夫。院内を分娩室などのスペースと、レセプションルームなどの生活スペースの2つに分け、内装は前者が「夜」、後者は「昼」をコンセプトとした。これについて目下院長は、「昔から出産と夜は親和性が高いと言われているため、夜を意識した環境が出産にいい影響を与えるのではないかと考えました。たとえば脳科学的に昼をイメージしやすい青色は夜のスペースでは用い

ず、逆に昼のスペースは大きな窓から青空が見える開放的な空間にしています。一見来院する人が気づかない要素でも、出産にいい影響が出るよう配慮しています」と話す。

また、出産前後から家族が自宅と同様に一緒に過ごすことで妊婦がリラックスできるように、すべて個室となっている。大人5000円/日、子ども1000円/日で家族も宿泊できる。出産直後から家族がかかわることで、退院後の子育てがスムーズに始められるというメリットもある。

ソフト面では、母親一人ひとりに向き合うため助産師を配置。バースプランの提案はもちろん、不安や悩みに耳を傾け、サポートしている。松本智恵助産師長は、「外来では必ず助産師がお会いして関係性をつくり、出産時もお母さんに寄り添います。不安や悩みを受け入れたうえで、順調に進んでいることを繰り返し伝えることを大切にしています」と話す。

また、出産に関する知識や経験の少なさからくる不安や悩みを解消するために、母親学級や両親学級、マタニティーヨガ、マタニ

POINT!

✓ ハード・ソフトの両面で精神面をフォロー

不安がスムーズな出産を妨げるとの考えから、ハード・ソフト両面で母親が安心できる環境づくりに取り組む。

✓ 各種学習プログラムを用意

母親学級や家族学級など、出産や子育てに関する学習プログラムを提供。また初産婦には、院長自らがレクチャーを行う。

✓ 歯科と連携し母親の歯科検診を実施

近隣の歯科診療所と連携し、週1回無料で母親の歯科検診を実施。母親だけでなく、生まれてくる子どもの健康にもつなげる。



日下剛院長と(右)、松本智恵助産師長



「昼」をコンセプトにしたレセプションルームと「夜」がコンセプトの分娩室



週1回連携先の歯科医が来院し希望者の歯科検診を実施



日下剛
院長

「心が与えるお産への影響について、もっと多くのお母さんに知ってもらいたいですね」



湘南鎌倉パースクリニック
神奈川県鎌倉市山崎1090-5
TEL: 0467-45-4103
診療内容: 産科

近隣の歯科と連携し 母親の口腔ケアを実施

ティービクスといったさまざまな学習プログラムを取り揃える。出産目前の同院で初めて出産する人限定で、日下院長による出産に関するレクチャーも実施している。「単なる知識だけではなく、心と出産の関係を学んでもらい、前向きに出産に臨んでもらえるように働きかけています」(日下院長)

「もともと、歯科診療所から声をかけてもらったのがきっかけでした。歯科医との連携のなかで、入院中のお母さんたちの口腔チェックや必要に応じたケアをしてもらうことで、将来の子どもの健康にも寄与できると考えています」と、日下院長は話す。ただ現状は医師や助産師が案内をして初めて歯科健診を受けるケースがほとんどで、口腔状態と子どもの健康との関係について、知らない母親が多いことが課題だという。

昨今、歯周病により早産のリスクが高くなったり、妊娠中の母親の口腔状態が生まれてくる子どもに健康に影響を与えることが明らかになっている。それを受けて同院では、近隣の歯科診療所と連携し、週1回希望者を対象に無料で歯科検診を実施している。

母親の不安の解消に多面的に取り組んでいる同院。「今後は不安やストレスの出産への影響をより多くの人に知ってもらうために、それに配慮した診療所づくりを進めるとともに、地域住民などへの情報発信にも取り組みたいです」と日下院長は展望を語る。